

ウォーキングイベントの 安全な運営と誘導



世田谷ウォーキングフォーラム

SWFのライアビリティ

Liability=法的責任、義務 または負債、賠償

- 万が一の事故等に関しましても自己責任でのご参加となります
- 体調の変化等でウォーキングを途中で中止する場合は、必ずサポーターにお知らせください
- 原則右側通行ですが、サポーターの指示に従ってください
- 二列で前の方と出来るだけ間隔をあげずに歩きましょう
- 歩道では、車道側をあけて歩き、自転車や他の歩行者に配慮しましょう
- こまめに給水をしてください
- *名札ケースの裏に緊急連絡先カードをお入れください

ウォーキングイベント当日の流れ

- サポーター集合(参加者集合時間の30分前が目安、各公園の指示に従ってください)
- 参加者受付
(受付名簿チェック、資料配布、新規受付など)
- 諸注意、コース説明、点呼など
- ウォームアップ
- ウォーキングスタート
- トイレ休憩、給水指示、参加者数確認(トイレ内チェック)
- ウォーキング終了
- クールダウン
- 参加記録ノートチェック
- 解散



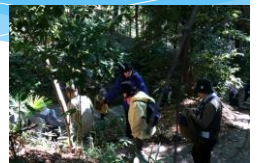
ウォームアップ・クールダウン



参加記録ノートをチェック

ウォーキングの習慣化を目指して ウォーキングイベントの 安全な運営の基本

- ウォーキングコースの下見で危険箇所やトイレ位置、歩く距離を把握しておく
距離は歩数計の歩数×歩幅
または Mapionのキヨリ測を活用する
- 雨天や降雪時は中止する
- SWFのルール(ライアビリティ)を参加者に理解してもらおう
- 初参加者が孤立しないように話しかける
- コース内の見所、花などを説明する



危険な階段を誘導



見所を説明

参加者への協力依頼(1)

- ウォーキングイベントの都度SWFのライアビリティを読み上げて、注意を喚起する(ライアビリティ参照)

《もっとも重要な点は**参加者が自己責任**で参加すること》

参加者への協力依頼(2) ライアビリティ以外

- 原則右側を2列で歩く(1列になる事もしばしばある)
- 歩道は建物側、川沿いの道は川側を歩く
- 交差点や信号待ちなどで進行停止した時は他の歩行者や自転車の通路を確保しながら、前に詰めてもらう。
- サポーターの注意を伝言ゲームのように前や後ろに伝えてもらう
- 信号が点滅したら絶対に渡らない
- 他の歩行者や自転車には道を譲る



建物側を歩く



交差点では通路をあける

参加者への協力依頼(3) ライアビリティー以外

- 傘(日傘)は他の参加者に危険なので使用禁止
- 車椅子、バギーでの参加はお断りする
- 転倒予防のためポケットに手を入れたり、腰の後ろに手を組んで歩かない
- 絶対に走らない
- 帽子、レインウエアー、マフラー、手袋、脱ぎ着しやすい服装などで参加する
- 水は必ず持参する



腰の後ろに手を組んでいる参加者には注意をする

イベント時の誘導 サポーターの役割

《サポーターの配置》

- 旗を持って先頭を歩くサポーター2名と最後尾を歩くサポーター2名、それ以外のサポーターは中段に分散して歩く(リーダーの配置指示に従う)
- サポーターが後ろに固まりがちなので注意する
- 旗は前方や後方の位置を知る目印なので肩より高く持つ
- 最後尾のサポーターは後方の参加者を前に押し上げるように歩く



先頭の旗



最後尾の旗

イベント時の誘導 サポーターの役割

《声掛け注意》

- 車、自転車、他の歩行者が来たら左へ(右へ)と声を出して注意を喚起する
- 前の参加者と間隔があいてきたら詰めるよう注意する
- 先頭の歩く速度が速すぎる場合は携帯で連絡を取り合う



道を譲りあう



参加者の間隔があく

イベント時の誘導 サポーターの役割

《道路の歩く位置》

- 原則右側通行
- 広い歩道では建物側を歩く、川沿いの道では川側を歩く
- 2列で前の人と間隔をあげないように歩いてもらう



原則右側通行



川沿いは川側を歩く



舗道の表示、建物側に歩行者マーク

イベント時の誘導 サポーターの役割

《交差点や信号待ち》

- 信号が点滅したり、車が来たときは両手を広げて参加者を止める
- 後ろのサポーターが追い付いて来たら役目を交代して持ち場に戻る(交代しないと最後尾になる)
- 他の歩行者や自転車を通すスペースをあげる
- 歩くのが遅い参加者を前に出す
- 停止したら列が短くなるよう、中段や最後尾のサポーターが前に詰めるよう声をかける



交差点の対応



通路をあげる

イベント時の誘導 サポーターの役割

《緊急時の対応》

- 途中でウォーキングを中止する参加者の把握(リーダーに報告)
- 歩くのが特に遅い参加者にはリーダーと相談して専属サポーターを付けて旗の後方でもよいことにする
- 急病や転倒などで怪我人が出た場合はリーダーに携帯連絡する
- 意識がある場合は本人の了解を取って救急車の手配をする
- 意識が無い場合は直ちに救急車の手配をする
- 救急セットやヒヤロンを適宜利用する